

1 学校教育目標						
燦(さん)として輝き、熱誠(ねっせい)こめて社会の力となる人材の育成 ～他者とのつながりの中で磨く、総合的な人間力～ 総合的な人間力：至誠一貫(誠意・まごころ・夢・理想・志・チャレンジ精神・起業家精神・忍耐力・粘り強さ 等) 自主自立(思考力・判断力・表現力・行動力・責任感・規範意識・自己肯定感・地域肯定感 等) 友愛協働(親しみの情・福祉の心・思いやり・優しさ・協働性・協調性・連帯感・信頼感 等)						
2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)						
当面取り組むべき課題として、次のことが挙げられる。 学習指導：目標を持って授業に取り組ませるための授業改善 恵まれたICT環境を活用した理解力・思考力・表現力等の育成 基礎学力の定着に向けた家庭学習の充実 進路指導：早い段階で進路意識を高め、高い進路目標に向けた計画的な努力を促進 生徒指導：自己肯定感・他者肯定感の育成 生徒が主体的に行動し、自らを律することができる指導の充実 保健体育：生徒の健康や安全に関する意識を高める取組の充実 教育相談：支援を必要とする生徒に適切に対応できる体制づくりと支援の充実 いじめ防止：未然防止、早期発見及び早期解決のための情報共有と組織的な取組の充実 地域・保護者連携：学校による地域貢献活動と地域による学校支援の充実 寮運営：寮生の生活規律の確保と安全管理の充実とともに、魅力ある寮づくり 業務改善：時間外勤務時間を削減するための業務内容・方法の見直し						
3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題						
○重点目標 (1) 主体的な学習を促し、確かな学力を育成する学校づくり (2) 他者とのつながりを深め、健やかな心と体を育成する学校づくり (3) 地域を愛し地域から愛される、存在感のある学校づくり ○生徒チャレンジ目標 善・進・全・礼 ～ 挨拶 感謝 笑顔 ～						
4 自己評価						
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者評価 意見・要望等
学習指導	・生徒一人ひとりの主体的な学習を促し、確かな学力を育むための授業改善	・各教科の実態に応じ、アクティブ・ラーニングの充実による授業改善を図ることで、生徒の理解力・思考力・表現力・技術力を育成する授業場をより多く設定する。	4: 授業評価アンケートで積極的に授業に参加し、学力・技術を高めたと思う生徒の割合が8割以上である。	3	生徒は、学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見直しを持って粘り強く学習に取り組む。自己の学習活動を振り返る「主体的な学び」が少しずつ定着している。また、生徒同士の協働、教員との対話を通じて自己の考えを深め、対話的な学びも定着している。ただし、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出し出して解決策を考えたりする、「深い学び」の実現がこれからの課題として挙げられる。引き続き、めざすべき目標を明確にし、見直しをもって授業に臨み、さまざまな角度から生徒に問題提起を行っていきたい。そしてアクティブ・ラーニング等の充実により、生徒がより深い学びができ、かつ生徒に確かな学力を定着させることができるよう、家庭学習の習慣付けを含め、より一層の授業改善に努めていきたい。	アクティブ・ラーニング等の取組により生徒が主体的・意欲的に学ぶようになってきていることが、授業参観や生徒へのアンケート結果などからうかがえる。今後は、新学習指導要領や大学入試改革に的確に対応したカリキュラムの検討や社会から求められる人材の育成に向けた更なる授業改善が期待される。
			3: 授業評価アンケートで積極的に授業に参加し、学力・技術を高めたと思う生徒の割合が6割以上である。			
			2: 授業評価アンケートで積極的に授業に参加し、学力・技術を高めたと思う生徒の割合が5割以上である。			
			1: 授業評価アンケートで積極的に授業に参加し、学力・技術を高めたと思う生徒の割合が5割未満である。			
進路指導	・希望進路の実現	・面談及び情報提供等を充実し、個々の将来を考えさせ、何をしたいかを意識させることで、進路実現の後押しをする。	4: 学校評価アンケートの「明確な進路意識の有無」の項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒・保護者の割合が8割以上である。	4	面談等を行い個別指導、模試、課外、放課後の自習、自習室の充実、外部講師・PTA役員による面接を実施した。就職希望者については、希望者が全員内定を得ることができた。就職希望者も昨年同様、積極的に自習室を活用する生徒が増えている。これは、先輩から自ら勉強するという意識が引き継がれており、主体的に学ぶ姿勢の現れであると思われる。今後は、こうした生徒の主体性を養いながら、面接指導・教科指導等に取り組み、就職希望者全員の内定や大学等の推薦・AO入試・一般入試への合格に向けて一層、進路実現の後押しに努めていきたい。1・2年次については、「進路の日」の「卒業生講話」に従来の就職した卒業生のほか本校福祉専攻科に進学した卒業生も加わってもらった。県内定住に加えて、卒業後の進学先として周防大島町内にも目を向けるよう指導していきたい。	教員による個別の指導に加え、PTAを交えた面接練習を行うなど、適切な進路指導に努めており、就職・進学ともに、生徒の進路実現が図られている。生徒の希望進路を確実に実現できるような、大学入試改革等の情報提供を的確に行いながら、引き続き進路指導の充実を図るとともに、地元への就職が促進される取組についても検討してほしい。
			3: 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒・保護者の割合が6割以上である。			
			2: 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒・保護者の割合が4割以上である。			
			1: 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒・保護者の割合が4割未満である。			
生徒指導	・規範意識の向上	・集団指導や個別指導による日常的生活指導を継続的に行う。	4: 学校評価アンケートの「日常的生活指導、集団指導や個別指導」の項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒・保護者の割合が8割以上である。	4	声かけや監視、生徒指導だまりの発行等により、身だしなみについては気を付けている生徒が増えてきた。指導されてその場で直すことができる生徒がほとんどである。頭髪の再検査でも指導に素直に従う傾向にある。今後は、継続的な指導に努めていく。また、本校は校内外で、生徒が直接地域の方と交流したり話を聞いたりする機会が多いため、その機会をとらえて、時と場合を考えた行動ができるよう生徒の規範意識を高めていきたい。	校外で出会う生徒は気持ちのよい挨拶をしてくれるようになり、校内でも生徒が前向きに活動している姿が見受けられる。場面指導も大切であるが、道徳性を養うことも注力しながら、規範意識の醸成や社会人としてのマナー向上に向けて、引き続き教員が一体となった生徒指導に尽力してほしい。
			3: 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒・保護者の割合が6割以上である。			
			2: 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒・保護者の割合が4割以上である。			
			1: 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒・保護者の割合が4割未満である。			
保健体育指導	・健康や安全に関する意識の向上	・保健だよりを中心に、生徒に健康・安全についての情報提供を行う。 ・担任・保護者と連携を密にすることで、健康診断後の受診勧告を受けた生徒の受診率を高める。	4: 学校評価アンケートの「健康や安全に関する情報の提供」「生徒の健康と安全」への関心」の項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒・保護者の割合が8割以上である。	3	検診結果を家庭に配布するとともに、通院が必要な生徒には夏休み中の保護者会でも通院を促すことを昨年度から継続している。歯科の通院率を上げることを課題とため、全校総務での呼びかけ等を行った。保健だよりを定期的に家庭に配布するとともに、学校HP上でも見られるようにすることも継続している。生徒の自己管理能力向上を目指して、昨年度と同様に2回にわたって、学校保健安全委員会を実施した。1回目の委員会では1年次を対象に、学校歯科医に「歯と口の健康」に関する講演を行っていただき、歯磨きの重要性を喚起することができた。11月末には2回目の委員会として、本校生徒の健康・体力に関する実態を共有するとともに、歯科受診率を高めるための方策を協議した。	今後とも積極的な情報発信に努めることで、生徒の健康や安全への関心を高め、健康診断後の受診率の向上につなげてほしい。また、保護者の意識啓発を図り、歯と口の健康の維持や睡眠時間の確保など、家庭と連携した基本的な生活習慣の定着に向けた指導が引き続き望まれる。
			3: 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒・保護者の割合が6割以上である。			
			2: 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒・保護者の割合が4割以上である。			
			1: 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒・保護者の割合が4割未満である。			
教育相談	・学校生活へのよりよい適応のための支援の充実	・生徒一人ひとりに対応した教育相談活動の活性化を図り、生徒が安心して学校生活を送れるよう支援する。	4: 学校評価アンケートの「生徒一人ひとりに対応した教育相談活動」の項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒の割合が7割以上である。	4	昨年度導入したTKM2-DV+(生徒自己理解調査)を今年度も全学年実施し、生徒の個々の特性の理解を深め、生徒への対応に反映させるよう努めた。今年度はさらに、検査結果を周知するため、臨床心理士の方に読み取り方を教えていただく結果説明会を実施したこともあり、評価では「よくあてはまる」と答えた教職員が昨年度より10.8ポイント増加し、生徒理解がより深まったのではないかと考えている。しかし、依然として人間関係の構築や学習方法等、学校生活に不安を抱えている生徒は多いため、今後も早期に状況を把握することに努め、対応の改善を行っていきたい。	望ましい集団形成とともに、調査結果を活用した生徒理解を深めながら、気になる生徒への働きかけをしっかりと行っている。引き続き生徒理解を的確に進めながら、カウンセリングなどの教育相談活動を充実させていってほしい。
			3: 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒の割合が5割以上である。			
			2: 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒の割合が4割以上である。			
			1: 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒の割合が4割未満である。			
いじめ防止	・いじめの未然防止、早期発見及び早期解決のための組織的な取組の充実	・日頃から生徒との信頼関係の構築や生徒の些細な変化についての教職員間の情報共有に努める。 ・定期的なアンケート・面談希望調査の結果を受け、迅速かつ適切、丁寧な指導を組織的に行う。	4: 学校評価アンケートの「HRでの面談や支援の適切な実施」の項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒の割合が8割以上である。	4	昨年度に引き続き、学校生活アンケートを定期的に実施することによって生徒一人ひとりの状況の変化を素早くとらえ、速やかにスクールカウンセラーとの面談へつなげたり、担任・教育相談室を中心とした情報交換会を実施して対応を検討したりするなどの実施に努めた。教職員の評価では、「よくあてはまる」が8.1ポイント増加し、また、「カウンセラーに相談しやすい体制」についての項目でも「よくあてはまる」が16.2ポイント増加し、迅速かつ適切で丁寧な指導を組織的に行うことについて、少し改善が見られたと考えている。	生徒の環境や抱える悩みも複雑化・多様化している中で、関係教職員間を始め、スクールカウンセラーとも十分に連携し、問題行動の未然防止に努めている。生徒が安心して学校生活を送れるよう、引き続き教職員間の情報共有をさらに進めながら、生徒の支援に努めてほしい。
			3: 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒の割合が5割以上である。			
			2: 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒の割合が4割以上である。			
			1: 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と思う生徒の割合が4割未満である。			
地域・保護者連携	・地域と連携した教育の推進	・海の中での地域貢献など、地域と連携した教育活動をより一層充実させるとともに、生徒の活動状況を積極的に発信する。	4: 学校の教育活動による地域活性化と生徒の学習意欲向上を評価する教員と保護者が7割以上である。	4	「放課後せんせい」などの地域でのボランティアに参加するなど、地域貢献活動に積極的に参加した。また、中学校での行事へゲストティーチャーとして高校生の参加なども行っている。服の手小学校プロジェクトも、例年同様、近隣の保育園や小学校、連携中学校などにも呼びかけを行い、回収活動に力を入れ、昨年度ほど多くはないが、770枚の子ども服を集めることができた。	「放課後せんせい」などは、地域の小・中学生にとって異学年に触れる貴重な機会であり大変ありがたい。理想の先輩像を見ることが、小・中学生にとって大切である。また、多様な活動の中で地域の人々と関わることは生徒を成長させてくれる。引き続き積極的に情報発信することで、生徒募集にも繋げてほしい。
			3: 学校の教育活動による地域活性化と生徒の学習意欲向上を評価する教員と保護者が5割以上である。			
			2: 学校の教育活動による地域活性化と生徒の学習意欲向上を評価する教員と保護者が5割未満である。			
			1: 学校の教育活動による地域活性化と生徒の学習意欲向上を評価する教員と保護者が3割以下である。			
寮運営	・安全・安心な寮生活の提供	・安下庄校舎教員が、久賀校舎事務室、各寮との情報交換を密にすることで、生活環境の保全と寮生の健康管理に努める。	4: 週に1度、久賀校舎事務室及び各寮に足を運び情報交換を行った。	4	寮務部の各寮担当を中心に、久賀・安下庄の各事務、教職員、舎監補助員等と連携して適切な寮の運営を行っている。また、今年度より新寮となるため、施設の充実及び適切な運営方法について関係との情報共有・意見交換等を行っている。今後、生徒の規範意識を高めるとともに、生徒の要望等に応じて食事の改善等を行うなど、より魅力的な寮生活を送れるように、今後も連携して運営を行っていききたい。	親元を離れて生活する生徒が安心して生活できるよう、新しい寮の運営や寮生の心のケアに尽力し、寮での生活が学校の一つの魅力となるよう努力することが必要である。その新しい寮の魅力については、しっかりと外部や中学生等に発信してほしい。
			3: 2週間に1度、久賀校舎事務室及び各寮に足を運び情報交換を行った。			
			2: 月に1度、久賀校舎事務室及び各寮に足を運び情報交換を行った。			
			1: 久賀校舎事務室及び各寮に足を運び情報交換を行うことがあまりできなかった。			
業務改善	・時間外勤務時間を削減するための業務内容・方法の見直し	・適切な役割分担を行うとともに、分掌主任を核とし、日常的に管理・調整を図る組織の構築及び相互に支援しあえる働きやすい職場づくりに努める。	4: 前年度と比べて業務時間が減少したと感じている教員の割合が8割以上である。	3	本校独自の取組等を推進する中で、業務が多岐にわたっているが、前年度と比べて業務時間が減少したと感じている教員は、約7ポイント上昇し60%となり、業務改善(精選とスリム化)がある程度進められた。また、学校が日々の業務の見直しを行い、業務の改善(スリム化)や業務分担の平均化に取り組んでいると考えている教職員は約70%で、前年度比約8ポイント改善はしているものの、依然、特定の教員に業務が集中している傾向があることから、分掌主任をメンターとして、日常的にメンバーの業務管理・調整を図る組織づくりが必要である。	時間外勤務時間についてのデータをまとめ、教職員に「見える化」を図ったことは、よい取組である。前年と比較し、時間外勤務時間が減少したことが数字に表れており、教職員の努力がうかがえる。教員の心身の健康が生徒の心身の健康につながる。さらなる取組に期待する。
			3: 前年度と比べて業務時間が減少したと感じている教員の割合が6割以上である。			
			2: 前年度と比べて業務時間が減少したと感じている教員の割合が4割以上である。			
			1: 前年度と比べて業務時間が減少したと感じている教員の割合が4割未満である。			

5 学校評価総括(取組の成果と課題)						
○今年度も、一般入試での国公立大学への進学を始め、県内企業への就職など、学校だけでなくPTAも巻き込みながら生徒の希望進路の実現を図ることができた。 ○「島・学・人プロジェクト」と称した、地元の青空市場「安下庄海の市」やコミュニティ・スクールの仕組みを活用した地域と連携・協働した取組も継続して行ってきた。 ○生徒は、こうした地域の方々との交流を通して、自分たちが地域社会に貢献しているという実感をするとともに、地域の方々からかけられる激励の言葉によって自信を深め、自己有用感を感じる中で、本校への入学を前向きにとらえ、主体性をもって学校生活を送っている様子が見受けられる。また、「アロハ・フラ島高」がフラガールズ甲子園に初出場し、地域の行事や施設訪問で躍りを披露し、大変喜ばれた。 ○「地方創生☆政策アイデアコンテスト2019」では、中国経済産業局長賞を受賞後、内閣府における最終審査会に進出しJTB賞を受賞するなど、本校の取組に対して一定の評価を得ることができた。 ○本校舎と離れている寮の運営においては、生徒の行動に目が見えないという課題が依然としてあり、来年度から一般生徒が入所する、安下庄校舎近くの新寮においても、生徒の安心・安全な寮生活の提供という観点から、担当部署の取組強化に加えて全教職員の意識改革を引き続き進める必要がある。 ○業務改善については、本校独自の取組を推進する中で業務が多岐にわたること、寮運営など他校にはない業務があることなどを勘案しながら、各教職員による「業務量自己評価」の結果も踏まえた上で、来年度から生徒指導部と寮務部を統合するなど、業務の効率化と働きやすい職場づくりに推進する準備を進めている。						
6 次年度への改善策						
○今年度の反省を踏まえ、本校独自の取組についてしっかりと検証し、教育効果の高いものに力点を置くと同時に、取りやめるものも視野に入れながら、引き続き取組の精選を行っていく。 ○地元中学生の減少を見据えながら、本校の魅力や本校で活躍する生徒の姿を積極的に発信するとともに、実際に中学生に見える活動をさらに展開することで生徒募集に繋げ、学校の一層の活性化に努めていく。 ○コミュニティ・スクールの仕組みを活用しながら生徒の自己肯定感の醸成だけでなく、地域の教育力や支援を教職員の負担軽減にも繋げるとともに、現行組織の見直しを図ることで業務改善を進めていく。						